

令和4年度 新潟県立歴史博物館 後期講座(10月～3月)のご案内・申し込み書(2022. 8. 8)

後期の申し込みは9/1～受付いたします。

裏面あり

□お申込日: 月 日 □お名前: (読み方) □お電話番号: () □ご住所:

期 日	曜	時 間	講 座 名	講 師	内 容	対象	定員	会場	御希望の欄に「○」をつけてください	お申込み人数
10月1日	土	13:30～15:00	はじめてのくずし字 —古文書を読む前に—	本多 園子	近世の古文書によく出てくる「くずし字」の中でも、簡単なものにチャレンジします。古文書を実際に読む前の超入門編で、古文書講座にはじめて参加される方むけの講座です。絵巻の中の「くずし字」も少し読んでみます。	一般	36	研修室		
10月9日	日	13:30～15:00	江戸時代のモノづくりと産業絵巻 ～鉾山を中心に～	鈴木 一義 氏 (前 国立科学博物館産業技術史資料情報センター長)	鉾山は、江戸時代最大の総合的なモノづくり産業です。鉾山絵巻には、さまざまな仕事や技術、さらに街や人々の様子が描かれています。それはどの様なものだったのか、いくつかの鉾山絵巻から紹介します。	一般	75	講 堂		
10月15日	土	13:30～15:00	石器鑑賞入門2 「石がたどった歴史に目を向ける」	橋詰 潤	博物館でよく見かける石でつくられた道具たち。横目で見ながら素通りしていませんか？知れば知るほどおもしろい石器の魅力を基礎から学んでみましょう。第2回目は材料になった石に注目します。石器の材料となる前、石たちはどのように生み出され、人びとの手に渡ったのでしょうか？その物語を一緒に楽しみましょう。	一般	36	研修室		
10月22日	土	13:30～15:00	新潟県の産業絵巻	渡部 浩二	令和4年秋季企画展「生業絵巻尽」にあわせ、新潟県に關係する産業絵巻のみどころを紹介いたします。	一般	36	研修室		
10月29日	土	13:30～15:00	沼垂郡の成立と消滅	浅井 勝利	奈良時代には存在したものの、その後消滅してしまった越後国沼垂郡について、その成立から消滅の過程を追いつつ考えていきます。	一般	36	研修室		
11月5日	土	13:30～15:00	かて飯—米のおいしい節約術—	大楽 和正	かて飯とは、米に穀類や野菜、海藻などを混ぜて炊いた飯のことです。全国的には大根が多く用いられ、新潟県ではウツギの葉や海藻のえごを使ったかて飯がありました。米を節約するための知恵と工夫にあふれた各地の「かて飯」を紹介し、その特色と意義について考えます。	一般	36	研修室		
11月12日 11月19日	土	13:30～15:00	古文書講座 ～江戸時代を探る～ 前編・後編	渡部 浩二	江戸時代の越後の人々のくらしがわかるような古文書を教材とし、古文書解説とともに文書の社会的背景を解説します。なお、対象者は古文書中級者とします。	一般	36	研修室		
11月26日	土	13:30～15:00	高橋竹之介の大河津分水構想	田邊 幹	冬季テーマ展示、分水通水100年に関連して、中之島出身の高橋竹之介の大河津分水構想について紹介します。	一般	75	講 堂		
12月3日 12月10日	土	13:30～15:00	古文書講座 ～越後文書宝翰集を読み解く～ 前編・後編	前嶋 敏	『越後文書宝翰集』所収の中世文書を読みながら、当時の時代背景などを考えます。	一般	36	研修室		
12月17日	土	13:30～15:00	粘土に植物を混ぜて作った土器	西田 泰民	縄文時代の早期後半から前期前半、約千年の間、粘土に植物繊維を混ぜて焼いた土器が作られました。植物混和土器は世界各地にもありました。こうした土器はどうして作られたのか、使われた植物は何だったのか進行中の研究についてお話します。	一般	36	研修室		

期日	曜	時間	講座名	講師	内容	対象	定員	会場	御希望の欄に「○」をつけてください	お申込み人数
1月21日	土	13:30～15:00	縄文土器の鑑賞	宮尾 亨	縄文土器の鑑賞のしかたを考えます。	一般	36	研修室		
1月28日	土	13:30～15:00	博物館を知る講座 「プラネタリウムの過去、現在、未来」	山本 哲也	1923年に光学式の本格的プラネタリウムができてから100年。プラネタリウム開発前史やプラネタリウム誕生の経緯、そして日本での導入と発展、さらに現在地点を確認し、未来を展望します。	一般	36	研修室		
2月4日	土	13:30～15:00	体験型講座 「火炎土器の突起をつくる」	宮尾 亨	火焰型土器や王冠型土器を特徴づける突起などのパーツの作り方を出土品の観察内容にもとづいて説明し、紙粘土で実際につくります。	一般	18	研修室		
2月18日	土	13:30～15:00	体験型講座 「縄をつくる・縄文をつくる」	宮尾 亨	縄の撚り方によって変化する縄文土器の文様を実際に体験します。	一般	18	研修室		
3月4日	土	13:30～15:00	雪国の食文化	大楽 和正	新潟県の食文化には、雪国を生きる知恵と工夫がたくさん詰まっています。雪国における発酵食、乾物、雪中貯蔵などの食料保存法を紹介し、その特質について考えます。	一般	36	研修室		
3月18日	土	13:30～15:00	越後地域近世近代窯跡の調査	西田 泰民	幕末から明治にかけて県内に勃興した製陶業についての概説と、窯址を踏査した今年度の成果について報告します。	一般	36	研修室		
3月25日	土	13:30～15:30	体験型講座 「作ってみよう『本格まが玉』」 (春の部)	山本 哲也	一般に体験用として使う滑石(かっせき=硬度1)ではなく、やや硬い石材(硬度3)を使い、また、昔の製作技法も一部取り入れながら、ちょっとだけ本格的なまが玉作りを体験します。なお、「親子向け」とし、「保護者と小学生以下の組み合わせ」を原則とします。(要材料費300円)	親子	15	研修室		

<申込時期・申込方法>

申込時期：後期講座のお申し込みは9月1日から、以下のいずれかの方法でお申し込みください。9月1日前のお申し込みは受付できませんので、ご了承ください。

申込方法：お申し込みは、「この用紙」「館内の講座参加申込書」「電話」「葉書」「ファックス」または「メール」での申込となります。いずれも、希望講座名、お名前、住所、電話番号の4項目を明記してください。

*講師都合等による実施日の延期(中止)という場合があります。その際、申込者にはご連絡をいたします。お申込されていない方は、当館ホームページなどでご確認ください。

※お申し込みをキャンセルされる場合は、事前に下の連絡先へご連絡くださるようお願いいたします。

○新型コロナウイルスの影響や申込み状況により、実施の可否や内容、定員や会場についての変更が生じる場合がございます。ご理解をいただけますようお願いいたします。
○お申し込み後の変更につきましては、お申し込みをいただいた皆様へご連絡をいたします。また、ホームページに掲載いたしますので、そちらもご覧ください。

こちらから、当館ホームページの講座情報をご覧いただくことができます。



[申込先]

〒940-2035 新潟県長岡市関原町1-2247-2 新潟県立歴史博物館 経営企画課

TEL:0258-47-6135 FAX:0258-47-6136 メール:koryu@nbz.or.jp

※お申し込みいただいた際の個人情報、実施の可否、及び中止・延期等の連絡以外には使用いたしません。